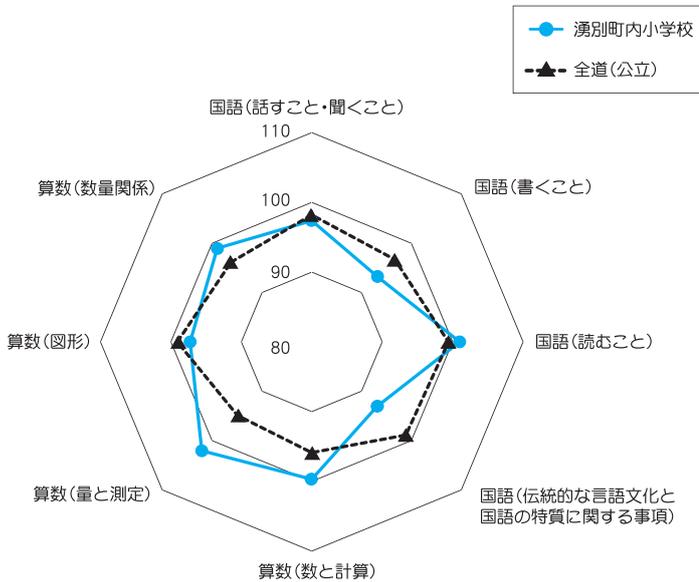


# 令和元年度『全国学力・学習状況調査』の結果

## 湧別町内小学校の状況および学力向上策（学校数：6校）

### 【教科全体の状況】

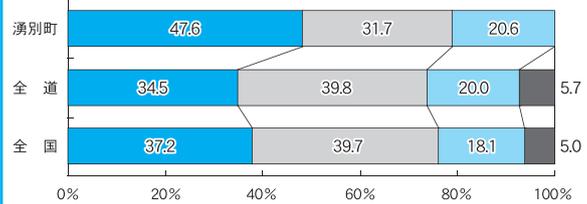
教科の領域別に全国を100とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート(グラフ)で示したものを(湧別町の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



### 【児童 質問紙調査】

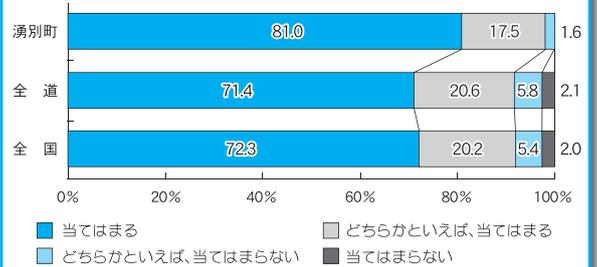
#### 《国語》

授業で学習したことを、普段の生活のなかで、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか



#### 《算数》

授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



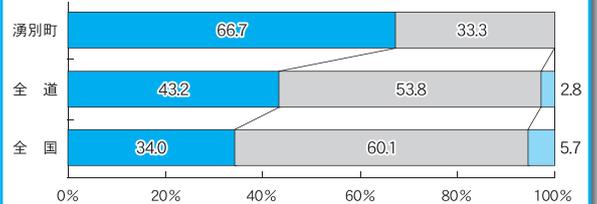
### 【分析】

教科	○国語では、「読むこと」で全国を上回っている。 ○算数では、「量と測定」で全国を上回っている。
児童質問紙	○「国語の授業で学習したことを、普段の生活のなかで、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校の割合が、全国および全道を上回っている。 ○「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国および全道を上回っている。
	○国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行ったことにより、思いや考えを伝える力が向上し、「国語の授業で学習したことを、普段の生活のなかで、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。 ○算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、日常の事象を数理的に処理する力が身に付き、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

### 【学校 質問紙調査】

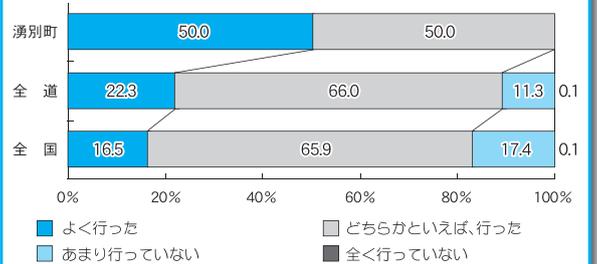
#### 《国語》

指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



#### 《算数》

指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



### 【湧別町の学力向上策】

- ◎各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの児童の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取り組みの充実
- ◎小学校における非常勤講師の配置の増員
- ◎長期休業を活用した高校生ボランティア学習サポート事業の実施
- ◎チーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎学校図書室支援事業による読書活動の推進



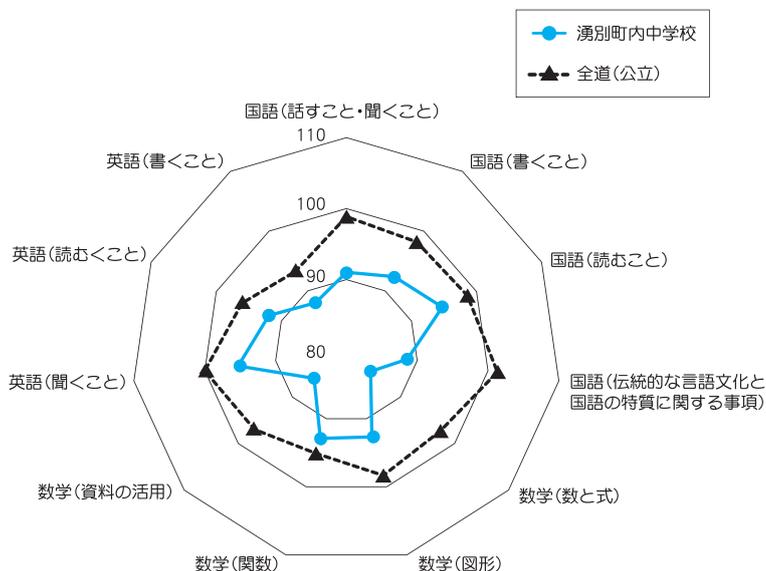
4月18日に全国学力・学習状況調査が実施されました。  
 この調査は、文部科学省が平成19年度より実施している調査であり、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るため、令和元年度は小学6年生と中学3年生を対象として、国語、算数・数学、英語の3教科で実施されました。

調査結果から見た湧別町の子どもたちの様子について、その概要をお知らせします。

## 湧別町内 中学校の状況および学力向上策（学校数：3校）

### 【教科全体の状況】

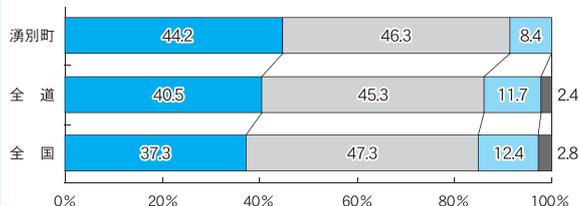
教科の領域別に 全国を100とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート（グラフ）で示したものを（湧別町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



### 【生徒 質問紙調査】

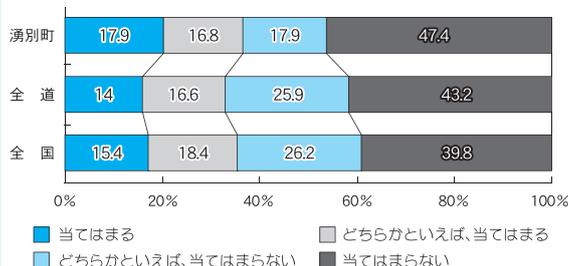
#### 《教科全体》

先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



#### 《英語》

学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか



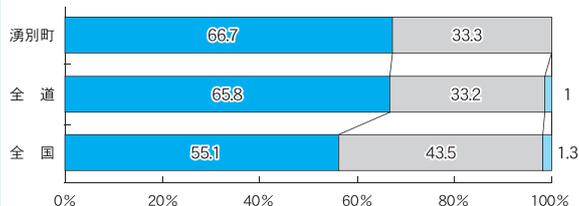
### 【分析】

教科	○数学では、「関数」で全国に最も近くなっている。 ○英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。
生徒質問紙	○「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒の割合が、全国および全道を上回っている。 ○「学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にある」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○「学校生活のなかで、生徒一人ひとりの良い点や可能性を見つけて評価する取り組みをよく行った」と回答した学校の割合が、全国および全道を上回っている。 ○「英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行った」と回答した学校の割合が、全国および全道を上回っている。
	○学校生活のなかで、生徒一人ひとりの良い点や可能性を見つけて評価する取り組みをよく行ったことにより、授業中における振り返りが充実し、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じる生徒が増え、学習への意欲が向上したと考えられる。 ○英語の授業において、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語でよく行ったことにより、学習への意欲が向上し、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が増えたと考えられる。

### 【学校 質問紙調査】

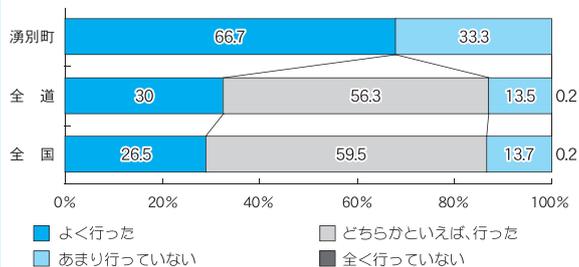
#### 《教科全体》

学校生活のなかで、生徒一人ひとりの良い点や可能性を見つけて評価する取組をどの程度行いましたか



#### 《英語》

生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、授業を英語で行いましたか



### 【湧別町の学力向上策】

- ◎各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの生徒の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取り組みの充実
- ◎ティーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎学校図書室支援事業による読書活動の推進

